

FREE

ご自由にお持ちください。

No.826  
2022 July



岐阜県の森林・林業

# もり り 森林のたより

News of the forest

## 緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました



緑化功労者岐阜県緑化推進委員会会長表彰を受けられた皆様



左から 栗谷本さん、仲谷さん、  
高橋さん、平岩会長  
岩尾さん、栗本さん、細江さん



左から ダイードドリンク(株)、平岩会長、  
中部事務機(株)、(株)大垣共立銀行



緑の募金感謝状を受けられた皆様

6月6日(月)に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第11回定時総会の席上で、  
平岩正光会長(県議会議長)から表彰状並びに感謝状をお贈りしました。

●詳細は21ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail [sanrinag@quartz.ocn.ne.jp](mailto:sanrinag@quartz.ocn.ne.jp)

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
7月15日(金)	令和4年度 岐阜県森林研究所 「研究・成果発表会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容: 再造林に関する様々な課題(本誌17ページの研究コーナーを参照)について研究成果を紹介いたします。</li> <li>●時間: 13:00~16:30(予定)</li> <li>●参加料: 無料</li> <li>●申込方法の詳細は、右記の当所URLをご覧ください。</li> </ul> ※都合により会場参加/Web参加人数を調整させていただきます。予めご了承をお願いいたします。	森林研究所 ※会場参加とWeb参加があります。詳細は当所の URL: <a href="https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/">https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/</a> をご覧ください。  E-mail: <a href="mailto:info@forest.rd.pref.gifu.jp">info@forest.rd.pref.gifu.jp</a> FAX: 0575-33-2584 (TEL: 33-2585) 住所: 〒501-3714 美濃市曾代 1128-1
7月16日(土) 8月21日(日)	森林文化アカデミー オープンキャンパス	入学を検討している人を対象にオープンキャンパスを実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間: 10:00~16:00</li> <li>●参加料: 無料</li> <li>●事前申込: 必要(募集定員 森と木のエンジニア科 48人、森と木のクリエイター科 20人)</li> </ul> <a href="https://www.forest.ac.jp/admissions/opencampus/">https://www.forest.ac.jp/admissions/opencampus/</a> から申し込んでください。	森林文化アカデミー   TEL: 0575-35-2525
7月29日(金) 7月31日(日) 8月12日(金) 8月21日(日)	スプーンクラブ	一般の人々に木工に親しんでもらう機会を作るため、月に3~4回程度、伐ったばかりの生木を斧やナイフで削る「グリーンウッドワーク」の手法でスプーンを作る「スプーンクラブ」を実施する。	ぎふ木遊館   TEL: 058-215-1515
8月4日(木)	狩猟免許試験 (わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●時間: 9:30~17:00</li> <li>●申込: 6/30~7/14</li> </ul> ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜県立森林文化アカデミー  各地域を所管する県事務所等、または環境生活政策課 TEL: 058-272-1111 (内線 2701)



市況	22
林業者向けお知らせ	21
緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました	21
多様な森林づくりを目指した針広混交林造成	20
国有林の現場から(69)	19
スマート林業通信(25) 路網設計支援ソフト操作活用研修開催	18
普及コーナー 令和の時代に、新たな今須の林業が芽吹く!	17
研究コーナー 長期実証データから再造林の課題を考える	16
地域の人 木の癒される炎が決め手、ペレットストーブの導入	15
森林と人を活かす知恵(114) GSS(GIS)スマホで一人での測量、設計	14
木の香るささ木の施設(112) えな・ふれあいの家	13
シリーズ『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(3)	12
主伐・再造林の推進について	11
令和4年度清流の国ぎふ	10
森林基幹道「中美濃線」が全線開通しました	9
令和4年度清流の国ぎふ	8
脱炭素から始まるREBORN 親子環境学習エコツアー	7
シリーズ『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(3)	6
山のおしよまほし(372) 高齢者、ミドリカミキリ	5
ぎふ木遊館通信	4
morinosプログラム紹介!!	3
令和4年度清流の国ぎふ	2

FREE
No.826
7

岐阜県の森林・林業

## 森林のたより

News of the forest

緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました







6月6日(月)に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第1回定例会議の場にて、平瀬正光会長(岐阜県緑化推進員)から表彰状並びに感謝状をお贈りしました。

表紙●詳細は21ページをご覧ください。

目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) ..... 2  
 「第4期岐阜県森林づくり基本計画」を策定しました ③ ..... 3  
 100年の森林づくり計画(森林配置計画)の策定状況について ..... 3  
 多発する山地災害への備え ..... 3  
 2022(令和4)年度 山地災害防止標語及び写真コンクール「山の目エスタキふ2022」(ぎふ木育WEEK2022)を開催 ..... 4  
 森ジョブが、林業関係広報コンクールホームページ部門の奨励賞を受賞しました。 ..... 5  
 山の歳時記203 カラスビシャク ..... 6  
 山のおしよまほし(372) 高齢者、ミドリカミキリ ..... 7  
 ぎふ木遊館通信 ..... 8  
 morinosプログラム紹介!! ..... 9  
 森林基幹道「中美濃線」が全線開通しました ..... 10  
 令和4年度清流の国ぎふ ..... 11  
 脱炭素から始まるREBORN 親子環境学習エコツアー ..... 12  
 主伐・再造林の推進について ..... 13  
 シリーズ『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(3) ..... 14  
 木の香るささ木の施設(112) えな・ふれあいの家 ..... 15  
 森林と人を活かす知恵(114) GSS(GIS)スマホで一人での測量、設計 ..... 16  
 地域の人 木の癒される炎が決め手、ペレットストーブの導入 ..... 17  
 研究コーナー 長期実証データから再造林の課題を考える ..... 18  
 普及コーナー 令和の時代に、新たな今須の林業が芽吹く! ..... 19  
 スマート林業通信(25) 路網設計支援ソフト操作活用研修開催 ..... 20  
 国有林の現場から(69) ..... 21  
 多様な森林づくりを目指した針広混交林造成 ..... 21  
 緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました ..... 21  
 林業者向けお知らせ ..... 22  
 市況 ..... 22



# 「第4期岐阜県森林づくり基本計画」を策定しました

今月号では、森林づくり基本計画の「林業・木材産業の振興」について、ご紹介します。

まず、1つ目の施策の柱とする「都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大」では、建築物などへの県産材利用や、木質バイオマス利用を拡大し、都市の木造化・脱炭素社会づくりを推進します。主な取り組みとして、県民や民間企業の県産材利用に対する理解の醸成を図るため、「(仮称)ぎふ木の国・山の国木材利用促進条例」の制定を目指します。また、非住宅建築物の相談窓口となる「(仮称)非住宅建築相談センター」を設置するとともに、設計を担う建築士等を育成します。木質バイオマスの利用拡大では、発電施設への燃料材の安定供給や、商業・観光施設等への木質資源利用ポイラー等の導入を支援します。

次に、2つ目の施策の柱とする「DXの推進による林業・木材産業改革」では、木材サプライチェーンの構築、木材の安定供給と森林所有者への利益還元を推進します。住宅の建築情報と原木や木材製品の生産・在庫情報を一元管理し、原木調達や木材の需給調整を円滑に行う「製品流通デジタルプラットフォーム」を構築する団体を支援します。また、「森林クラウドシステム」を活用したデジタルデータによる木材生産計画の策定や、路網設計システムの導入を促進するほか、高性能林業機械のレンタルや導入する林業事業者を支援します。

## 【主な目標指標】

- ・「非住宅施設の木造化及び内装木質化施設数200施設」
- ・「木材生産量65万立方メートル」など



県産材を活用した非住宅建築物  
(製品保管倉庫)



デジタル総合住宅展示場

## 林業・木材産業の振興

施策の柱	主な取組内容
<b>3 都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木材利用を促進する条例の制定</li> <li>○木材利用に対する理解醸成</li> <li>○県産材住宅新築・増改築・リフォーム支援</li> <li>○木造建築物の設計や相談を担う人材の育成と活用</li> <li>○「非住宅建築相談センター」の設置</li> <li>○新工法・部材開発支援</li> <li>○東濃松・長良杉の販路拡大支援</li> <li>○VRやWEBによる販路拡大支援</li> <li>○木質バイオマス発電施設への燃料の安定供給支援</li> <li>○木質バイオマスの熱利用の推進</li> <li>○J-クレジット等の推進</li> </ul>
<b>4 DXの推進による林業・木材産業改革</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 需要に合わせ柔軟かつ迅速に対応する木材サプライチェーンの構築                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○原木在庫情報のデジタル化と原木集荷システムの構築支援</li> <li>○原木のストックヤード整備支援</li> <li>○製品の生産工程や在庫管理のデジタル化支援</li> <li>○製品寸法の規格化や製品倉庫整備の支援</li> <li>○製材工場へのICT・IoT導入支援</li> <li>○木材の生産現場から製材工場への直送支援</li> <li>○木材需要者と供給者による需給調整体制整備支援</li> <li>○製品流通デジタルプラットフォームの構築支援</li> </ul> </li> <li>(2) 木材の安定供給と森林所有者への利益還元                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○木材生産計画の策定支援</li> <li>○森林クラウドシステムによる高精度森林資源情報や伐採地情報の共有</li> <li>○林道や作業道の整備促進</li> <li>○路網設計システムの導入支援</li> <li>○搬出ルートや出材量のシミュレーションの支援</li> <li>○木材生産情報の集約・共有システム導入支援</li> <li>○高性能林業機械のレンタル・導入支援</li> <li>○通信技術の研究と導入支援</li> <li>○ICTを活用した最適造材・仕分けの導入支援</li> <li>○林業機械無人化技術の推進</li> </ul> </li> </ul>

【林政課 村土秀巳】

●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-8470](tel:058-272-8470) 林政課まで

# 100年の森林づくり計画(森林配置計画)の策定状況について

岐阜県では、第3期岐阜県森林づくり基本計画において、望ましい森林配置への誘導や人工林の年齢構成の平準化を目指す「100年の森林づくり計画(森林配置計画)」の策定に取り組んできました。令和3年度末までに、市町村ごとに開催された地域検討会において、県下の地域森林計画対象民有林の全域(約68.4万ha)について、「木材生産林」(主たる目的が木材の生産である森林)または「環境保全林」(水源涵養など公益的機能の高度な発揮を期待する森林)のどちらかに区分することについて合意形成され、この2区分の配置計画は、策定目標値である100%を達成しました(図1)。

また、地域の特色や実情に合わせて上記2区分に重複して設定することができる、「観光景観林」(観光道路から眺望でき景観的価値が高い森林)や「生活保全林」(集落や生活道路に隣接し住民生活を守るための森林)も策定しました。

この配置計画の策定により、100年先の望ましい森林の姿が明確となりました。今後は、それぞれの区分にふさわしい森林づくりを促進していきます。

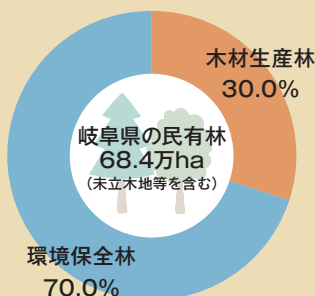


図1 森林区分の合意形成の状況

表 将来目標区分別の面積(令和3年度末現在)

将来目標区分	面積
①木材生産林	205,234.24ha
②環境保全林	478,581.27ha
合計	683,815.51ha
③観光景観林	53,010.04ha
④生活保全林	20,907.86ha

※③、④は①または②に含まれる

【林政課】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(3025) 森林計画係まで

# 多発する山地災害への備え

例年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な被害が発生しています。岐阜県においては、令和3年8月11日から続いた記録的な大雨により東濃・飛騨地域を中心に多大な被害が発生しました。

このような被害を軽減するため、県では、地形や地質から見て山くずれや土石流の危険度が高く、人家や道路へ直接影響が大きい箇所を山地災害危険地区として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害をなくすためには、自分の身は自分で守るという自助や共助の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区や避難所を確認するなど、早めの備えをお願いします。

山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。  
(<https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html> より、  
「山地災害危険地区」で検索)



\2022(令和4)年度/

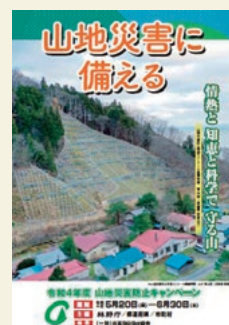
## 山地災害防止 標語 及び 写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン(5月20日～6月30日)の関連行事として、「山地災害防止 標語及び写真コンクール」が、一般社団法人 日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も、山地災害防止に係る標語と写真作品を募集しています。(締切9月30日(金)当日消印有効)

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターは、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。

多くの方からの応募をお待ちしています。



令和4年度  
山地災害防止キャンペーンポスター

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4階  
(一社)日本治山治水協会 標語・写真コンクール係 TEL:03-3581-2288 FAX:03-3581-1410

【森林保全課 治山係】



# 「山の日フェスタぎふ2022」 (ぎふ木育WEEK2022)を開催

～ぎふの木に触れ・森で遊び・森の大切さを知ろう～

県では、8月の「ぎふの山に親しむ月間」に合わせて、ぎふの山や自然を知り、親しむ「山の日フェスタぎふ2022」(ぎふ木育WEEK2022)を開催します。

**期 間** 令和4年8月6日(土)～12日(金)

**会 場** ぎふ木遊館、森林総合教育センター(morinos)

**主 催** 岐阜県、(公社)岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会、  
(公社)岐阜県緑化推進委員会

- 開催内容(予定)**
- サマーフェスタ(8月6日(土) 会場:ぎふ木遊館)
  - 森のプレーパーク(8月6日(土) 会場:morinos)
  - パネル展示、緑化運動ポスターコンクール入賞作品の展示(8月6日(土)～12日(金))
  - スタンプラリー(8月6日(土)～31日(水))
    - ぎふ木遊館とmorinosに設置しているスタンプをいずれも押した台紙を応募していただいた**先着150名様**に対し、景品(木のおもちゃ)をプレゼント(郵送)します。
    - スタンプラリー台紙は、ぎふ木遊館、morinosで配布します。
    - ぎふ木遊館は、予約制(有料)です。右記二次元コードからご予約ください。



ぎふ木遊館

お問い合わせ: 森林活用推進課 森林活用係 TEL:058-272-8472 FAX:058-278-2702 E-Mail:c11513@pref.gifu.lg.jp

## 森ジョブが

### 林業関係広報コンクールホームページ部門の奨励賞を受賞しました。

先に開催された、全国林業改良普及協会主催の第55回(令和3年度)林業関係広報コンクールにおいて、公益社団法人岐阜県森林公社「森のジョブステーションぎふ」がホームページ部門(応募総数11点)の奨励賞を受賞しました。

森のジョブステーションぎふは、平成30年に無料職業紹介所の開設許可を取得し、岐阜県から指定を受けていた「岐阜県林業労働力確保支援センター」の機能と組織を拡充する形でスタートしました。

業務は、無料職業紹介、林業就業促進のための就業相談・普及啓発活動、新規就業者の定着支援、森林技術者の育成研修等を行っています。

特に、林業に特化した無料職業紹介を実施するにあたり、わかりやすいホームページ作りを通じた情報発信を心掛けています。コンクールの審査委員会からは、下記の講評をいただきました。みなさん、ぜひ、森のジョブステーションぎふのホームページをご覧ください。

#### 【審査講評】

就業への流れ、相談方法とそれへのアクセス、事例紹介等がしっかりできています。オンライン相談のバナーがトップページの上にあるのは良いです。ブログも毎月更新されていますし、取材記事の「森のしごとストーリー」も充実しています。動画で見る森のしごととも配信されています。



森のジョブステーションぎふ ホームページ



就業相談会



フォレストワーカー集合研修

公益社団法人 岐阜県森林公社 森のジョブステーションぎふ

TEL 0575-33-4011(代表) URL: <https://m-job.net/> 森ジョブHPへ





文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

夏至から数えて11日目、陽暦の7月2日は七十二候の1つ「半夏(はんげ)または半夏生(はんげしょう)」と言います。

昔は田植えの最終目安を「半夏生」までとしていた地域も多く、半夏生を過ぎてから田植えをしていては例年の半分しか収穫が見込めないとして、半夏より前に田植えを終えよという意味で「半夏半毛」、すなわちハンゲハンモウとハンゲハンゲの語呂合わせで言い伝

えていました。

この他にも、半夏にはハンゲという毒草の影響で「天から毒が降る」として、野菜の収穫を控える地域もあったそうです。

このハンゲとは、北海道から沖縄までの日当たりの良い畑などで見られるサトイモ科ハンゲ属のカラスビシャク (*Pinellia ternata*) のことです。球茎から長い葉柄のある3つに分かれた葉を出し、6月〜8月には葉とは別に地中から高さ20〜40cmにもなる花茎を伸ばします。

花は多くのサトイモ科植物に見られるような仏炎苞(ぶつえんほう)があります。仏炎苞とは仏像の背後の光を表す飾りを象つたような苞で、花は仏炎苞に被われて目立たないため、臭いでハエの仲間を誘き寄せて受粉します。

和名の「烏柄杓」は仏炎苞の一部が黒色で、形が水を汲む柄杓(ひしゃく)に似ているため、カラス色の柄杓もしくはカラスの使う柄

杓の意味で名づけられました。

別名にヒシャクシヨウナカセ(柄杓商泣かせ)、カラスノオキユウ(烏のお灸)がありますが、私が好きな別名はヘソクリです。昔、農家の主婦が畑の草取りの合間に、カラスビシャクの球茎(塊茎)を集め、薬屋に売ってヘソクリを貯めたことが由来とされます。

カラスビシャクの球茎は外皮を剥いで乾燥したのは生薬で「半夏」と呼ばれ、古くから痰を切り、咳を止め、吐き気を抑え、妊婦のつわり止めや車酔いに用いられました。

毎年10月ごろに球茎を採取して出荷されてきましたが、古い文献によれば産地は岐阜、長野、新潟、神奈川県とあり、特に神奈川県三浦半島のもは「三浦半夏」と珍重されました。

この半夏にはアミノ酸類やシステロール、ステアリン酸などが含まれています



▲小さいながらも仏炎苞が明確なカラスビシャク

が、生薬としての有効成分は判然としないそうです。また乾燥させた球茎には、目に見えないほど小さな針状の蔞酸カルシウムの結晶が付着しているため、生薬を加工する過程でこの結晶による皮膚炎が発生するほど、取り扱いが難しい生薬とされます。

日本では畑の雑草として目の敵にされるカラスビシャクですが、現在でも中国などから大量に輸入されている生薬なのです。





# 山のおじゃまむし



## —高齢者、ミドリカミキリー【第372回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

数年前から年金生活となった私。時間がある。好きな事が出来る。大喜びしたが、厳しい現実。体力、気力、根気がなくなる。前のように作業が出来ない。いらいらする。すぐにテレビのスイッチ。時々、今日は何月何日何曜日なのか、すぐに出てこない。ボケの始まり。心配になる。しかし、「俺もだ」と同級生。ほっとする。こんな日々の連続だ。それが令和4年5月9日。この日はすぐにわかった。私の79回目の誕生日だからだ。もう79か。あっという間だったなあーと複雑な気持ち。しかし、この日はいつものダラダラ生活とは違い、思い出に残る一日であった。これは神様からの誕生日プレゼント。そんな気がした。たまたまこの日は岐阜県林友会岐阜支部の役員会。3年ぶりの開催だ。コロナで中止されていたからである。まず驚いたのは故人となった方の多かったこと。「え!あの人が」「いつ、何処で。」こんな会話があちこちから聞こえてきた。会員はほとんどが70歳以上。しかも3年間分の死者数なのでいつもより多かったのである。このため、懇親会だけは毎年開くべきだという意見が多かった。会員はすべて高齢者なので、いつ何が起きるかわからないからだというのが理由だ。高齢者か。自分では若いつもりでも79だからなあー。またまた複雑な気持ちになった。これ以外の議題は異議なし、異議なしで。あっという間に終了。これはいつもの高齢者の会議であった。

× × × ×

この後、本紙の発行責任者のS氏を訪ねた。「山のおじゃまむし(山虫)は30年書き続けたので終わりにしたいとの相談だ。と言うより、私自身の気力の萎え。書き始めても集中できないし、根気がなくなったからである。するとS氏は、「書くべきですよ。それが貴方の生きがいでしょ。」そして「山虫を書かなくなれば腑抜け人間、ただの人ですよ」と言われた。この一言で目覚めた。そのとおりだ。確かに自分でも「これなら」という原稿が完成した時の喜びと爽快感。言葉では言い表せない。これがあるから書き続けたのだ。改めて思った。しかし、書く時の苦しみ。これもきつい。特に原稿のネタさがしに苦勞する。私は原稿を書いても読んでもらえなければただの紙だと思っている。それで私が経験したことを書けば読者も興味を持つだろうと書いてきた。これを忘れていた。もう一度初心に戻って挑戦しよう。まず、気力の萎え。これを追い払わなければ。

× × × ×

我が家の孫たちはトカゲ(カナヘビ)を飼っている。餌は生きている小さな昆虫やくもなど。これを捕えてきて与えるのが私。孫たちは観察して、その様子を話してくれる。「一番好きなのは細長い幼虫で、次はクモだよ」「嫌いなのはコガネムシやテ

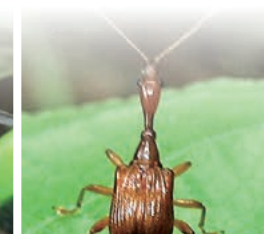
ントウムシ、カミキリムシだよ」「ミミズも食べていたよ」などいろいろ話してくれる。私の知らないことが多いので聞くのが楽しみだ。話してくれる孫たちの姿。心が和んでくる。だから餌とりはまったく苦にならない。喜んで出かけている。餌とりは三日おき。今日はその日だ。いつもの場所へ出かけた。しかし、いつものように採れない。捕虫網で草木をすくった。その時、きれいなカミキリムシが採れた。ミドリカミキリだった。大きさは3cm、細長い体。これならトカゲは食べるかも知れない。与えてみよう。一方では標本にしようとも思った。どちらにしようかと迷ったが、トカゲの餌に。それはマニアの昆虫標本を引き受けるところがないので、高齢者の私が今更標本を増やす気にはならなかったのである。やはり79の私には高齢者という言葉が付きまとうようだ。



▲餌として与えたミドリカミキリ

× × × ×

帰宅したら、私に手紙が届いていた。高校で同じクラスだった女性のNYさんからであった。すぐに学生時代の顔が目に見えてきた。ご主人と38年間開いていた薬局を閉局したとの案内であった。そんなに長く開いていたのか。ご苦勞様と労をねぎらった。考えれば彼女も79才。高齢が原因だろうと思った。電話をかけた。「Yですがどちら様でしょうか。」上品な声が聞こえてきた。「同級生の野平ですが。」すると「なに!野平さん。久しぶりやなあー。元気かな。」と当時話していた飛騨弁の声。「薬局やめたんやって」「そうなんやさー。すぐに体がてきのうなるんで、無理なんやさあー。」この後も飛騨弁交じりの話して盛り上がった。彼女とは同窓会で数回会っているが、どんな顔だったか思い出せない。それが、高校生時代の顔ははっきり覚えているのだ。色白で目のぱっちりした女学生。あの顔は忘れることができない。今思えば、私の初恋。そんな気がして笑えてくる。しかし、今はどんな顔なのか。おばあさんには間違いないが、想像できない。悲しい報告もあった。それはASさんが急死されたとのこと。しかも、ご主人を亡くし一人暮らしだったので、見つかったのは一週間後だったという。誰にも看取られることなく天国へ向かった彼女。胸が痛んだ。これが今日一日の出来事。しかし、どれも高齢者がらみのことばかり。またまた複雑な気持ちになった。







# ぎふ木遊館通信

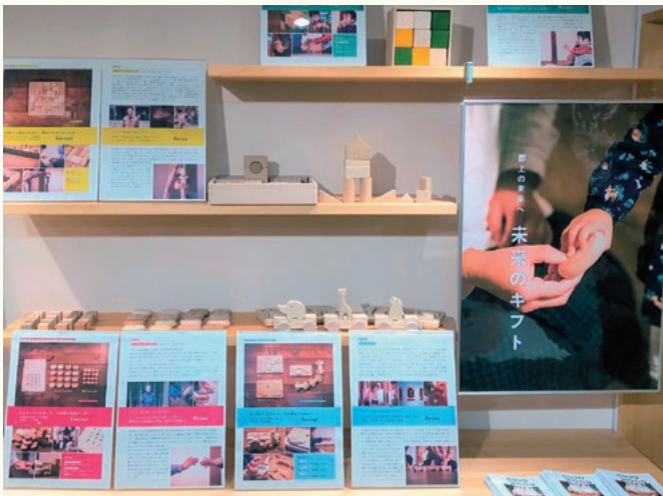


ぎふ木遊館のギャラリーでは、県内各地の「ぎふ木育」の取組や、その背景となる自然を紹介するギャラリー企画展を開催しています。

## <郡上市展> 会期：4/22～5/19

郡上市では、新生児に市内産の木のおもちゃのカタログギフトをプレゼントする事業を実施しており、その対象のおもちゃを展示して、来館者に触れてもらいました。カタログには、郡上市内のおもちゃ製造事業者の写真や想い、実際に使用したお母さんのレビューなどが掲載されており、木の温かみとともに、人の温かみも感じられる取組です。

また、市の重要無形文化財に指定されている「郡上本染」の展示(協力：郡上本染渡辺染物店)により「ジャパンプルー」と評される藍色が館内を彩りました。木育ひろばの天井には、郡上の冬の風物詩吉田川での寒ざらして色鮮やかに仕立てられた郡上本染のこいのぼりが設置され、来館する子どもたちの端午の節句をお祝いしました。



## <美濃加茂市 里山千年構想 企画展> 会期：5/21～6/10

美濃加茂市では、「里山千年構想」を掲げ、里山の整備、整備後の里山空間の活用、資源としての活用につながる様々な取組を実施することで、将来にわたり持続可能な里山づくりを目指しています。その取組で生まれたアベマキを使った多種多様な製品(おもちゃ、ボールペン、置き時計、カトラリー、学童机、スツール、アベマキ染めTシャツなど)を展示するとともに、取組の背景や過程を収めた映像作品をモニターで流しました。

また、5月21日は、企画展に関連して、美濃加茂の里山の木を使った3つの木育プログラム「ナイフを使ってキノコを作ろう」「木工旋盤でつくる、里山の一輪挿し」「木のオリジナルブレンドコーヒーを作ろう」を開催しました。子どもから大人まで、幅広い世代に興味をもってもらう切り口で企画されたプログラムは、参加者の満足度も高く、里山の木の魅力と可能性を感じてもらう機会になったと思います。







やがてみんなの森になる

# morinos

## プログラム紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

### <アカデミー教員プログラム 「帰化植物を見つけて調べちゃおう」>

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。今回ご紹介するのは、植物生態学が専門で、アカデミー開学以来のベテラン教員である柳沢直教授と一緒に、初夏のmorinos周辺を歩いて外来植物（帰化植物）を探すプログラムです。

日本全土に約6000種あると言われる植物たち。そのうち元々日本に暮らしていた植物を在来植物といいます。記録がはっきりしている明治時代以降の日本で、野生で勝手に育つようになったものを帰化植物と言い、全体の2割以上に当たる1300種もあると言われています。

春から初夏に見られる代表的な例では、セイヨウタンポポ・ヒメオドリコソウ・オオイヌノフグリがありますが、これらは元々日本にはなかった帰化植物なのです。morinos周辺を散歩しながら、柳沢さんの植物愛あふれるトークと外来植物（帰化植物）の観察と採取を通して、知られざる植物と人間との関わりを探りました。

帰化植物の概要を知った後は、柳沢教授と一緒に帰化植物探しをスタート。オオイヌノフグリやオランダミミナグサ、ニワゼキショウなど、足元の草花の多くが帰化植物であることが分かりました。トンネルを抜けて国道沿いの歩道を探すと、アスファルトの隙間にセイヨウタンポポやヒメジョオン、セイタカアワダチソウ等がびっしり生えていました。



【「そもそも帰化植物とは何か」について説明する柳沢教授】



【植物探し】



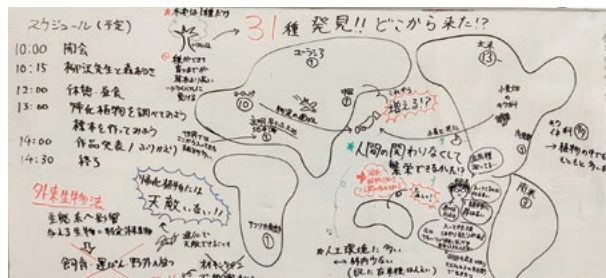
【外来植物のニワゼキショウ】

昼食後、帰化植物図鑑を使って見つけた植物がどこから来たのか、原産国を調べました。

ホワイトボードに世界地図を描き、地域別に見つけた種数を記入すると北米とヨーロッパ原産の植物が多いことが分かりました。柳沢先生曰く、「帰化植物は物資の運搬に伴って持ち込まれることが多い。日本と経済的につながりが深いため、北米とヨーロッパ原産が多いのだろう。今は中国やアジアとの関わりが強くなっているため、アジア原産の帰化植物が増えるかもしれない。」とのこと。



【図鑑を使って原産国を調べる】



【外来植物どこからきたの?】

帰化植物や外来植物というと、在来種を脅かす厄介者のイメージが強いのですが、柳沢先生は「これだけ自由貿易が広がっている中で、植物が入ってくるのは仕方ない。一方で、植物に罪はなく、適切に対処することが大切。帰化植物を知ることで人間の営みを知ることができる。」と、植物に対する愛情を熱く語っていただきました。

こうしたプログラムはmorinosのHPで開催をお知らせしています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube 「morinosチャンネル」



# 森林基幹道「中美濃線」が全線開通しました

美濃市片知を起点とし、関市洞戸、郡上市美並町、郡上市八幡町を經由して終点関市板取に至り、3市に跨る森林基幹道「中美濃線」が令和3年度に全線開通しました。

## 【事業の経過】

本林道は、平成元年度に事業採択され、以降、令和3年度の事業完了に至るまでの通算32年の長期に渡り事業が行われてきました。

幅員5.0m、総延長20kmにのぼり、総事業費約48億7,700万円（年平均約1億5,241万円）の費用により完成に至りました。

## 【森林整備の状況】

本林道の沿線には、約2,134haの広大な森林があり、その立木の蓄積は約486,500m<sup>3</sup>に上ります。

本林道の全線開通により、多くの森林整備が行われることが期待されています。

工事が行われている期間も、通行可能な区間を使用し、NPO法人が、林道沿いの森林で間伐等の森林整備を行ってきました。

また本林道からは支線となる作業道等が多く開設されており、林道を利用して整備

する森林の区域拡大も図られていることから、本林道は、適正な森林整備、間伐材等木材の搬出利用、効率的な林業経営の促進等、沿線地域の活性化に役立っています。

## 【期待される効果】

### （観光）

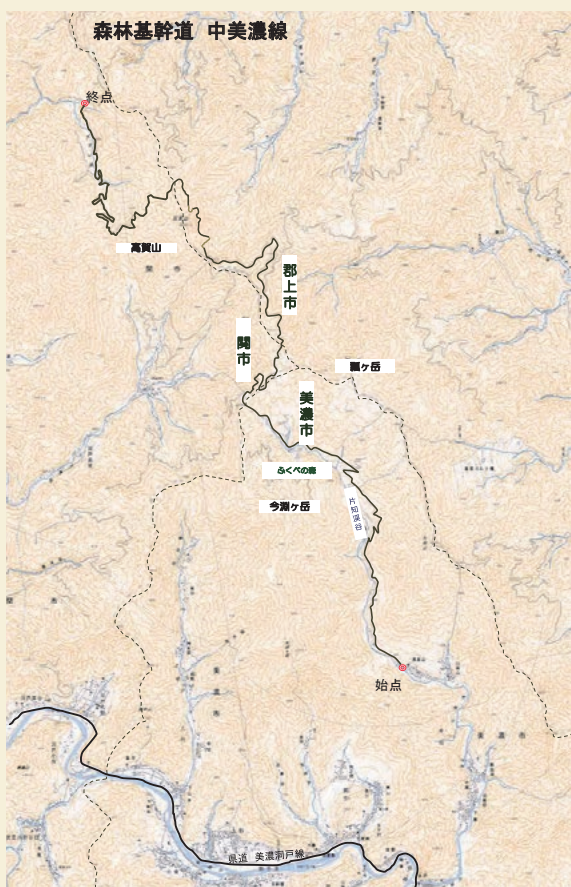
本林道沿いには、関市洞戸・同市板取・郡上市八幡境に高賀山、その南東に瓢ヶ岳、南に今淵ヶ岳がそびえています。これら三山に至るための登山道や、多目的保安林「ふくべの森」へのアクセス道として利用されています。

また、起点側の美濃市には瓢ヶ岳を源流とする片知溪谷があり、遊歩道が整備され地域の観光資源として利用されています。本林道の開設により片知溪谷へのアクセス性向上が見込まれ、ひいては観光客の増加・地域振興への貢献も期待されます。

### （防災）

美濃市から関市洞戸を結ぶ県道美濃洞戸線、関市洞戸から関市板取を結ぶ国道256号線は、板取川沿いに通行する道路です。これら道路が河川の氾濫等の災害で通行困難となった際の迂回路として本林道の活用が期待されます。

中濃農林事務所 林業課



林道 中美濃線  
美濃中央高原整備推進協議会  
開通記念パンフレット掲載写真より



林道 中美濃線  
美濃中央高原整備推進協議会  
開通記念パンフレット掲載写真より



林道 中美濃線  
(特非) 杣の杜学舎撮影



# 令和4年度 清流の国ぎふ 脱炭素から始まるREBORN 親子環境学習エコツアー

岐阜県では、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーを実施しています。ぜひご参加ください。

## 【令和4年度ツアー（予定）】

連番	実施日	コース名	対象年齢	プログラム	主な先行	予定参加費/人
01	7/23 (土)	山の先生同行ツアー 森にはどんな働きがあるのかな？飛騨川流域の森で 「川遊び・土遊び・木遊び」	小学1年生 以上	①自然体験交流	下呂市	大人 3,150円 小人 3,150円
02	7/30 (土)	森林のすごさを体験しよう！神聖な裏木曾古事の森ガイ ドウォークと小水力発電所見学	小学1年生 以上	②環境配慮行動 実践	中津川市	大人 4,000円 小人 4,000円
03	7/31 (日)	清流長良川あゆパークでわくわく体験！鮎のつかみ取 り体験とドキドキ長良川調査！	小学1年生 以上	①自然体験交流	郡上市	大人 4,800円 小人 2,500円
04	8/6 (土)	みんなで水環境を守ろう！絶滅危惧種「ハリヨ」の見 学と廃油せっけんづくり	小学1年生 以上	②環境配慮行動 実践	大垣市 安八郡輪之内町	大人 2,550円 小人 2,550円
05	8/8 (月)	気分は大学生！大学生と一緒に地球問題を考える水生 生物観察会とドキドキ横山ダム堤内見学	小学1年生 以上	②環境配慮行動 実践	揖斐郡揖斐川町 岐阜市	大人 2,450円 小人 2,450円
06	8/11 (祝・木)	マイクロプラスチックゴミってなんだろう？藤前干潟 クリーンアップ活動と名古屋港水族館バックヤード見 学	小学1年生 以上	①自然体験交流	愛知県名古屋	大人 4,100円 小人 3,100円
07	8/27 (土)	森と川の繋がりを感じてみよう！ひるがの分水嶺ガイ ドウォークと白山ユネスコエコパークシャワークライ ミング体験	小学3年生 以上	①自然体験交流	高山市 郡上市	大人 6,650円 小人 6,650円
08	8/28 (日)	「はざこ探検」って何だろう？生き物博士と探す「国 の特別天然記念物オオサンショウウオ」	小学1年生 以上	①自然体験交流	郡上市	大人 4,650円 小人 4,650円
秋	現在準備中です。県のホームページ等で確認してください。					
冬	現在準備中です。県のホームページ等で確認してください。					

※参加対象者は、岐阜県内にお住まいの小・中学生と同伴の保護者（18歳以上の方）です。

お子様のみのご参加はできません。必ず保護者同伴でお申し込みください。

食物アレルギーがある場合は、申込時にご連絡ください。

※プログラムについて

①自然体験交流：自然体験交流要素が強いプログラムです。（小学1～4年生におすすめ）

②環境配慮行動実践：環境学習要素が強いプログラムです。（小学5年生以上におすすめ）

※新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したうえで催行します。

※コロナ感染拡大防止の為、プログラム内容の変更、ツアー中止となる可能性がありますのでご了承ください。

※6月24日（金）12時から募集を開始しており、先着順のため、受付を終了している場合があります。



森林教室



はざこ探検



リサイクルセンター見学

ツアーの参加申し込みはWEBのみ（先着順）  
右記2次元コードよりお申し込みください。

こちらの記事は募集記事ではございません。

ツアーのお問い合わせは（株）日本旅行 岐阜支店  
TEL058-265-7501（月・火・金・土12:00～17:00）



清流ミナモト

●その他のお問い合わせは TEL 058-272-1111 内線(2697) 岐阜県脱炭素社会推進課教育普及係まで



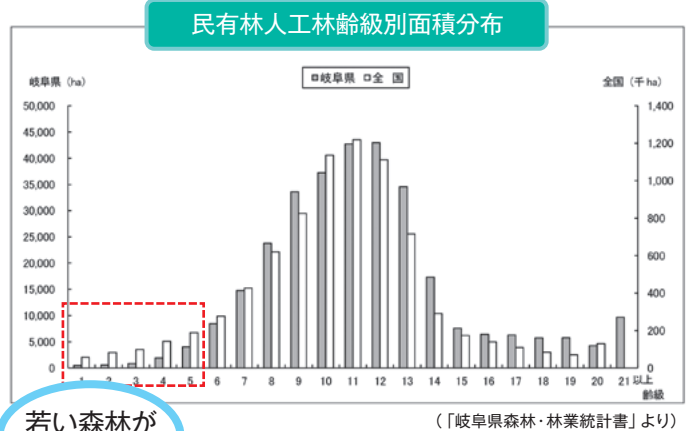
# 主伐・再造林の推進について

## ～「脱炭素社会に貢献する森林づくり」～

近年、地球温暖化が一因と思われる豪雨災害が増えており、今後も様々な影響が懸念されています。このような中、政府は令和2年度に「2050年カーボンニュートラル」を表明しました。

この実現のためには、森林が持つ二酸化炭素吸収機能が重要な役割を担っています。

しかし現状では、森林の高齢級化に伴い、森林の持つ二酸化炭素吸収量は減少傾向にあるとされていることから、森林の若返りを図るための主伐・再造林が必要となっています。



本年度から始まった第4期岐阜県森林づくり基本計画において、令和8年度における人工造林面積の目標を1000haに設定しています。関係者が一丸となって、目標達成に向け、主伐・再造林を積極的に進めることとしています。

	R4	R5	R6	R7	R8
人工造林面積 (ha)	300	400	600	800	1000

また、本年度から新たに下記の施策を開始し、主伐・再造林の取り組みを強化します。

- 適正な伐採や植栽等を進めるため「主伐・再造林推進ガイドライン」を作成し普及
- 「主伐・再造林推進ガイドライン」に基づき実施する再造林等への支援強化
- 森林経営計画が認定された木材生産林については、森林整備事業における再造林や下刈り等保育の補助率85%に10%上乗せして95%を支援【再造林加速化促進事業】
- 森林経営計画が認定されていない環境保全林については、被災森林の伐採や早生樹等による植栽等を支援【脱炭素社会に貢献する森林づくり事業】

### 再造林地 (植栽+獣害対策)



### 早生樹 (コウヨウザン)



主伐・再造林を進めるためには、森林所有者・伐採事業者・造林事業者のみならず、連携・協力が不可欠です。

今後も、県では市町村と連携しながら、主伐・再造林への支援を強化していきますので、何卒よろしくお願いいたします。



## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

3

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

## 環境保全林整備事業

## 【事業概要】

森林所有者による森林整備の実施が困難な水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林について、水源涵養、水質浄化、土砂流出防止、生物多様性保全などの森林の持つ多面的機能の維持・向上・回復を目的とする水源涵養等保全林の整備を進めます。また、人里に近い里山林について、快適環境形成や保健・文化などの機能の維持・向上・回復を目的とする生活保全林等の整備を進めます。

森林所有者と事業実施者、市町村が本事業の実施に合意し、三者で協定を締結し事業者が間伐を実施する場合、県は森林整備に係る費用等を助成しています。

## 【補助対象者】

市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人 等

## 【補助率】

10 / 10 (上限あり)

## 【水源涵養林等整備の事業内容】

- 除伐（5 齢級以下の林分）  
不用木の除去、不良木の淘汰
- 間伐（12 齢級以下の林分）  
不用木の除去、不良木の淘汰
- 更新伐（18 齢級以下の林分）  
不用木の除去、不良木の淘汰、支障木やあばれ木等の伐倒
- 国土強靱化間伐  
（概ね10年間間伐履歴がない溪畔林で13 齢級以上18 齢級以下）  
不用木の除去、不良木の淘汰
- 関連条件整備

## 【生活保全林等整備の事業内容】 &lt;&lt;令和4年度:新規&gt;&gt;

- 不用木の除去  
不用木や不良木、支障木の除去や淘汰
- 修景等環境保全  
枯損木等の除去、枝葉の除去、下草刈り等の林床整備
- 森林業害虫の防除  
被害木の伐倒、薬剤処理、破碎、搬出運搬等
- 放置竹林の整備 [管理がなされず過密な竹林]  
伐倒、林内整理 (枝払い、集積)

## 【効果】

間伐を実施した箇所について、モニタリング調査を実施した結果、形状比（樹高÷胸高直径）の改善が見られたほか、下層植生被覆率（地表から高さ50cm以下の植物が地面を覆っている割合）が施業直後と比較して増加しており、地面には雨水により削られた跡も少ないことから、降雨による土砂の流出が防止され、水源涵養機能も高まりつつあるものと考えられます。

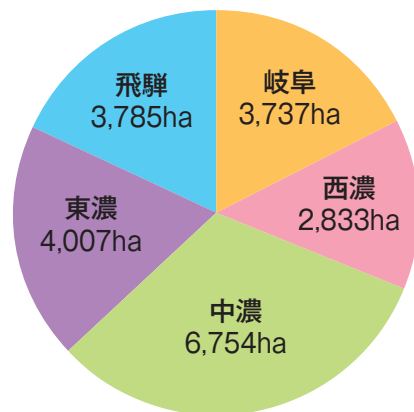
## 【これからの取組み】

清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第3期（令和4年度～令和8年度）には、10,500ha（2,100ha/年）を目標に、引き続き環境保全林の間伐を推進します。

## 【圏域別実施面積】

（水源涵養林等整備）

平成24年度～令和3年度



## 【林内の様子】



実施前

実施後

## 【樹冠の様子】



実施前

実施後





施設全景



### 施設概要

事業年度	令和2年度
事業主体	特定非営利活動法人ふれあいの家
構造 延床面積	木造平屋 388㎡
施設用途	多機能型福祉サービス施設
木材使用量 使用樹種	67.06㎡(うち県産材使用量56.06㎡) ヒノキ・スギ
全体事業費	87,637千円
助成額	6,001千円(木の香る快適な公共施設等整備事業)
設計者	協同組合東濃地域木材流通センター
施工業者	株式会社 柘植建設
工期	令和2年9月4日～令和3年3月1日



食堂



### 施設の経緯

当施設は一般の作業所に併設する福祉作業所として開設されました。点在する建物で作業を行っていたため、施設利用者に対する指導が行いづらく、安全確保の点で不安がありました。

また、多機能型事業所となったことから施設利用者数が増加し作業室が手狭になったことや様々な作業への対応が必要なことから、施設を新築移転することになりました。

木造に適した建物規模であることから県産材を利用して施設を建設することとしました。



作業室

### ここに注目!!

当施設は岐阜県福祉のまちづくり条例に基づく整備基準に沿った施設となっており、バリアフリー化し、通路が広くなりました。同じ建物内で作業できるようになり、施設利用者への指導も行いやすくなりました。

また、食堂も広くなり、コロナ対策を考慮して利用することができます。

### 利用者の様子

木材使用量のうち、8割以上に県産材を使用し建設しました。優しい雰囲気の建物となり、職員も施設利用者も、落ち着いて作業することができます。

■問い合わせ先  
特定非営利活動法人ふれあいの家  
TEL 0573-20-1530



●高い精度のRTK-GNSS

林業業界でも使われる場面の多いGNSS(アメリカのGPS、ロシアのGLONASS、日本のQZSSなどを含めた人工衛星による位置測位システムの総称)ですが、近年、より精度の高いRTK-GNSSを安価に購入することが出来るようになりました。従来はGNSSを測量に使うと思って、空が開けた場所でも誤差2〜3m、林内だと20〜30mほどずれて、尾根などに谷を示しているということも多々あり、歯がゆい経験をされた方も多いのではないのでしょうか。しかし、RTK-GNSSでは誤差数センチという高い精度で測位が可能です。これを使えば従来2人で行っていた測量作業を一人で行うことができます。演習林で林業架線の架設を行った事例を紹介します。

●架線の索張りをGISで検討

効率よく集材可能な架線を計画する

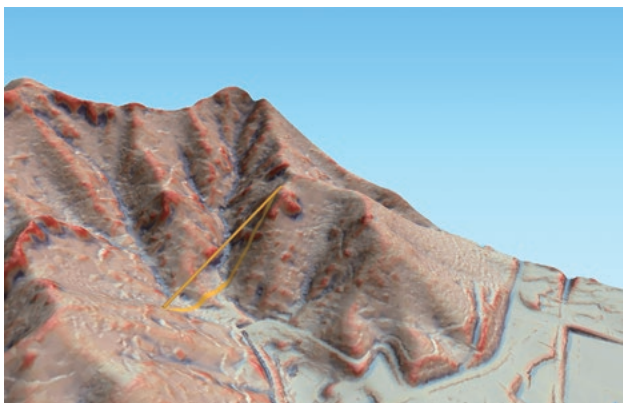


図 QGISの3Dで架線計画

ためには、架線のルートを探すことが大事です。そこで役に立つのがGISです。地形を3Dで見ながら、どのあたりに線を張れば線の高さを確保できるのか、集材ポイントはどこにするのか、検討します。

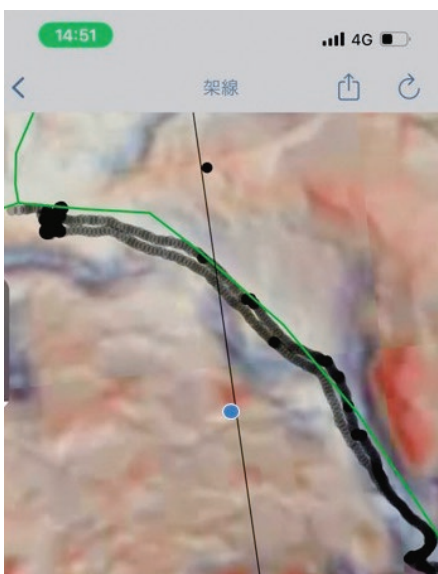


図 スマホで現在位置と架設位置を確認

●スマホとGNSSで線下踏査  
架線ルートを計画した後は、架線が通るルート上の立木を伐採する先行伐倒を行う必要があります。どの木が架線のルート上にあるのか特定する必要があります。従来はコンパスで測量したり、赤白ポールを持って複数人で林内を歩き回ったりしていましたが、GNSSとスマホを使えば、自分

るGNSSですが、精度の向上により、まだまだ活用できる場面があるかもしれませんね。

GNSS,GIS,スマホで一人で測量・設計

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ●杉本 和也

●1丁機器を用いて省力化

今回用いたRTK-GNSSですが、基地局からのリアルタイム情報を元に精度の高い位置情報を算出しているため、携帯電話の電波が入らないところであれば、今回のように精度高く主索の位置を押さええていくことができます。しかし、1丁の進化には目覚ましいものがあります。通信技術が6G世代になれば、山間部でも電波が入ると言われています。古くから使われているGNSSですが、精度の





# 木の癒される炎が決め手 ～ペレットストーブの導入～

株式会社 棚橋牧場

棚橋 和也さん

揖斐郡池田町にある「棚橋牧場[THE MILK SHOP]」(乳製品製造・直売、カフェ)のオーナーである棚橋和也さんが、牛乳屋さんには珍しく、昨年度ペレットストーブを導入されたので、お話を伺いました。

### 株式会社 棚橋牧場の概要

棚橋牧場の歴史は百年以上前の明治に遡り、初代銀八が乳牛を飼った所から始まります。以降、牛乳の処理、瓶詰めを開始し、一般家庭向けに牛乳の宅配を始めました。

現在、牛の飼育は行っていませんが、明治から続く屋号を守り、三月まで池田町の学校給食を手掛けており、四月以降は、一般家庭への宅配をメインに、牛乳の製造と販売を行っています。

昔ながらのパスチャライズ製法(80℃で15分間の殺菌)を用いた牛乳は、しっかりと甘みと深みのあるコクが特徴です。

「棚橋牧場[THE MILK SHOP]」は、棚橋牧場が「ミルクを楽しく、ミルクで笑顔に！」をコンセプトに、2014年に立ち上げたブランドで、2016年5月に、工場に隣接してオープンさせた直売所兼カフェは、古民家を改装した建物で、一見牛乳屋さんとは思えないおしゃれな雰囲気のあるお店です。

- このお店は、ミルクで笑顔を作るための4つの活動を行っています。
- ①古民家を改装した直売所
- ②各種イベントで移動販売
- ③自宅までお届け(地域相談)

④オンラインショップ  
と正に老舗牛乳屋さんが地域に根差した魅力的な活動をされています。  
このお店には、物販スペースと、イートスペースがあり、物販スペースでは、牛乳やなめらかプリン・パンナコッタ等の他、オリジナルマグカップ等も販売されています。



### ペレットストーブの導入概要

- 事業名・木質バイオマス利用施設 導入促進事業
- 事業費…898,000円
- 補助金…408,000円
- 使用燃料・揖斐地域で製造されたペレット(年間960kg使用)
- 品名・ペレスターHPS-200S

**Q ペレットストーブを導入された最大の理由は?**

**A** 古民家を改装したカフェのため暖かみのある炎のストーブを探していた時、知り合いがペレットストーブを

導入したため、視察して気に入ったからです。

**Q オーナーが思うペレットストーブのメリット・デメリットは?**

**A** メリットは、兎に角柔らかい炎に癒され、ずっと見ていられる。

**A** デメリットは、火力が若干弱い。また本体が重く、動かせないので、夏はインテリアとして飾っています。

**Q ペレットストーブを導入してのお客様の反応は?**

**A** お客様に暖かみのある空間を提供でき、落ち着く雰囲気のため、ストーブの説明をお願いされることがあります。



### 【棚橋牧場のお問合せ先】

◇棚橋牧場[THE MILK SHOP]  
・住所…岐阜県揖斐郡池田町池野470  
・電話…058514512155

【記事・揖斐農林事務所  
林業普及指導員 田口 均】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 05851231111(内線441)

揖斐農林事務所まで



## 長期実証データから再造林の

### 課題を考える

岐阜県森林研究所 ● 渡邊 仁志

主伐再造林の推進とともにコンテナ

苗が紹介されて以来、その性能評価が

全国で行われました。しかし、長期間

の検証データは少ないのが現状です。郡上市有林（八幡町）の実証試験地は、郡上市と岐阜県の協働により、他所に先駆けて平成二三年に造成された、県内で最も古いヒノキ・コンテナ苗の造林地です。調査開始から十一年が経ち、初期保育期間を終えたことから、ここでは、継続調査により明らかにしたことや今後の課題を報告します。

### コンテナ苗の成績は？

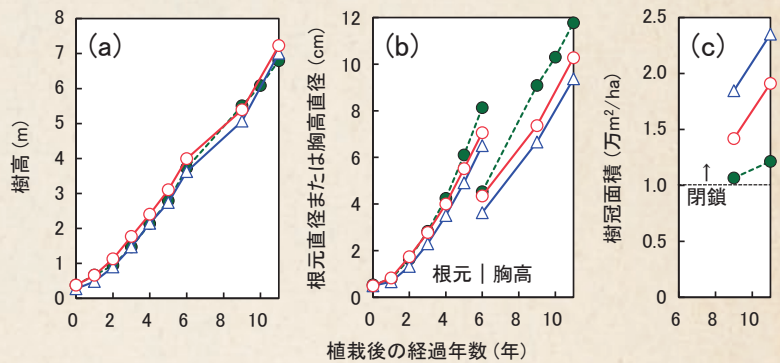
苗木の活着率は、通常密度区のコンテナ苗（図の○）で81%、同裸苗（同△）で96%でした。これをはじめての育苗で、品質がまだ安定していなかったのかもしれない。十一年生時の平均樹高、平均胸高直径は、コンテナ苗でそれぞれ七・二mと一〇・三cm、裸苗で七・〇mと九・四cmでした（図の○と△）。いずれも前者の方が大きく、コンテナ苗もしっかり成林すること、裸苗と同等以上の性能を有することが分かりました。現在は、品質が安定し、植栽後の成長がより早い育苗条件を探索

しています（本誌八一四号などを参照）。

### 植栽密度の影響はあったか？

通常密度（二〇〇〇本/ha）区と低密度（一〇〇〇本/ha）区の成長を比較すると（図の○と●）、樹高成長には違いがありませんでした（図のa）。しかし、低密度区では一本あたりの樹冠面積が拡大し、肥大成長が促進されたため（図のb）、単木材積が大きくなった半面、林分全体の材積は本数相応に少なくなりました。材積を重視するならば、植栽本数を再考した方がよいし、質を問題にするならば、材質や強度に及ぼす影響の長期的な検証が求められます。

また、九年生時において、通常密度区では林冠の閉鎖後二三年が経っていましたが、低密度区では、本数が少ないため樹冠面積の合計が小さく、閉鎖したばかりのようでした（図のc）。林冠閉鎖の遅れは、下刈り期間が延びる以外にも、地面の露出期間が長くなるため林地保全上の観点からも問題だと考えられます。現在、他の造林地でも林冠の閉鎖時期に関するデータを収集しています。



△裸苗(通常密度)区 ○コンテナ苗(通常密度)区 ●コンテナ苗(低密度)区

図 実証試験地の樹高 (a)、直径 (b)、および樹冠面積の合計 (c) の推移

### 食害の影響はみられたか？

試験地の防獣柵は倒木などにより何度も破損しました。二年生時には、約半数の調査木の梢端がシカに食べられました。壊れた箇所がシカに修理されましたが、シカの生息密度が高いため、わずかな期間に被害が大きくなりました。しかし、多くの被害木は新しく芯が立って回復し、健全木と樹高や樹形の差はみられなくなりました。つまり、食べられた回数が少なければ、その影響は小さいと考えられます。これは被

### 下刈り省略の影響はどうか？

植栽後五年間の下刈りを完全に省略した場合の成長を、下刈りをした場合と比較しました（詳しくは本誌八〇五号で報告）。省略区では、シロモジなどの低木性種が衰退しませんでした。その結果、ヒノキの肥大成長は抑制され、直径は細いままでした。適切な時期の下刈りが、やはり必要だと考えられました。現在、現地の状況（雑草の種類や量）にあわせて下刈り頻度やスケジューリングに関する調査研究を進めています。

本試験地の実証データから、確実な再造林に向けて、苗木の改良、目的にあわせた植栽密度、獣害対策、適切な下刈り時期などの課題が抽出できました。これらをもとに、岐阜県にあわせて再造林技術をひとつひとつ開発していきます。その成果については、今後本誌や当所の成果発表会（※）などで紹介していきます。

※再造林に関する発表会を開催します。詳しくは本誌2ページをご覧ください。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで





# 令和の時代に、新たな「今須の林業」が芽吹く！ ～現役世代有志たちの取組が始まる～



■西濃農林事務所

林業普及指導員 柘植 孝久

関ヶ原町今須地域では、幕末以降、林業と製材業が一体となり、地域内で「伐つて、植えて、育てて、使う」の、正に令和の現代に求められている「持続可能な森林経営」が単木択伐林施業により長きに渡り実践され、それらは「今須林業・今須杉」として広く知られてきました。

しかし、時代や生活様式の変化とともに、社会・消費者等の木材へのニーズも変わり、また、過疎化の進行等も重なって、多くの手間と時間を必要とする単木択伐林施業は、少なくともここ数十年は、ほとんど見られなくなりました。さらには、世代交代も進み、関係者等も山への足が遠のき、先人たちが手塩にかけて育成してきたそうした森林も、その森林を活かし続ける技術の継承等も途切れる一歩手前、限界に来ています。

そうした中、地元・今須の有志の方々が「何とかしたい」との思いから、できるところから行動を始められましたので、その一部を紹介いたします。

## ①から、森林づくりを学ぶ！

平成28年9月。地元・今須の有志5名の方々が構成する「Inase」プロジェクトが立ち上がりました。メンバーは、製材業が主体で今須独特の方法（写真4「参照」）で素材生産も行う方、製材業、建築業など、地元

に根付いた方々で構成されています。プロジェクト設立後、現在まで、特に「今須杉」のPRに努めてこられました。

こうした中、今須のような特色ある森林づくりの事例について学ぶため、令和3年12月、郡上市白鳥町に約50haの森林を管理する和田光雄さんと県白鳥林木育種場を一緒に訪れました。



▲【写真1】和田光雄さんの森林にて

和田さんは、全国各地から雪に強く、また通直完満なスギの優良品種を選別し、自ら育てたおよそ20種の挿し木苗を植栽して造り上げた美林を前に、「何事もやってみることが大切だ」と森林づくりにかけるその信念を熱く、またとても丁寧に教えてくださいました。

また、県白鳥林木育種場では、林木育種の重要性から、当場で育成しているエリートツリーまで、「育種のいろは」を教わりました。

## ②今須のことを多くの方に知ってもらう！

ぎふ木遊館及び関ヶ原町の協力

を得て、令和3年10月、同館でギャラリー企画展「関ヶ原町展〜キセキの木目「今須杉」」が開催されました。企画展では、旧今須小中学校の中学3年生が社会科で製作・販売した作品やメンバーが育てている今須スギの苗木、今須林業を紹介するパネル等を展示し、今須杉を通じて地域のアイデンティティを育んできた、ぎふ木育にも共通する取組を紹介されました。

なお、企画展の開催状況は、関ヶ原町もカバーする地元ケーブルテレビでトピックスとしてメンバーへのインタビューとともに生放送されました。



▲【写真2】「ぎふ木遊館」の企画展で「今須杉」をPR

## ③次の世代に森林づくりをつなげる！

### 「今須スギ」の苗木を植える

今須では、古くから地域内に自生する優れた形質の今須スギや今須ヒノキの母樹から種子を採取し、実生育苗により4年生の70〜90センチの



大苗が植えられてきました。

そうした中、令和4年5月、メンバーが5年前に伐採した今須スギから採種し、育成してきた実生苗木約20本を今須地内の森林と一緒に植えました。

今須では、立木を1本伐れば、その切株の周囲に2〜3本の苗木が植えられてきたことに倣い、切株や雪害により根返りした株の周囲を中心に植えました。作業を終えたメンバーは、「5年間、苗木を何とか育ててこられたのが、ようやく実を結んだ。でも、この苗木が「今須スギ」と呼ばれるようになる迄には、これから100年はかかる。だけど、今日の植栽が私たち世代における本当のスタートであり、ようやく自分たちにとって「植えて、育てる作業」に胸を張って携わっていると見える始まりの日だ。」と力強く話されました。



▲【写真3】「全国育樹祭(H27)の森づくりリレーのために伐採した今須スギ」の切株周囲に植栽したスギ苗木

## 最後に

「今須林業」は、高度な単木択伐技術とともに、特に「しゅもく(一般名「ぶり縄」)を使い最終的には樹高の2/3程度(17m前後)まで打ち上げる卓越した「枝打ち技術」により、成り立ってきました。

しかし、時代の流れとともに、そうした高所での作業など危険を伴う作業では、より安全性の高い作業方法が求められています。このため今後は、より安全性の高い作業方法の習得などにより、今須独特の単木択伐林施業技術の真髄の継承支援を通じて、令和の「今須の林業」の実現を目指し、メンバーと植えた苗木の成長とともに年輪と一緒に刻んで行けるよう取り組んでいきたいと考えています。



▲【写真4】今須独特の搬出車両(ウインチ併用改造レッカー車)

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-73-1111

西濃農林事務所まで

## スマート林業通信 25

### 路網設計支援ソフト操作活用研修開催

木材生産や森林整備において、作業道などの森林路網は重要な基盤です。森林路網の配置や線形計画は、その後の効率的な木材生産や適切な森林管理に繋がる重要な工程ですが、壊れにくく素材生産に適し、かつ開設コストも抑えた線形を計画するのは、地形を読み取る技術と経験が必要です。さらに現地での踏査・確認は多くの時間と労力を要する作業です。

「FRD」の操作活用研修会を5月11日に開催しました。研修では、地形、森林簿、既設路網など解析の基となるデータの取り込みから、解析対象区域の設定、開設計画する作業道規格の設定、設計までの全工程について、参加者全員にソフトを操作してもらいました。

県はスマート林業推進の一環として、路網設計の効率化と誰もが一定の水準での路網設計が可能となることを目指し、「路網設計支援ソフト(FRD)」(以下FRD)を森林整備課(現森林経営課)、森林文化アカデミー、及び森林研究所に導入しました。

「設定値と設計結果への影響」や「設計結果の出力形式」など多くの質問があり、時間が足りなくなるほどでした。研修翌日には、検討中の路網の設計を行うため使わせてほしいとの問合せもあり、有意義な研修になったと思います。

「FRD」は、地形や資源情報に基づいた適切な路網配置案を誰でも一定の水準で作成できる「路網設計支援ソフト」です。今回導入した「FRD」は、路線検討などのために使用していただくことができます。

「FRD」での路網設計に必要な詳細な標高と既設路網のデータは、森林研究所で作成済みです。FRDに限らず、森林管理などでこれらのデータが必要な方は左記までお問い合わせください。

そこで、森林文化アカデミーでは

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-35-2535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



# 多様な森林づくりを目指した 針広混交林造成

前号に続いて「令和三年度中部森林技術交流発表会」で森林技術・支援センターが発表した、広葉樹導入による針広混交林化の適切な施業方法の考察について概要を掲載します。

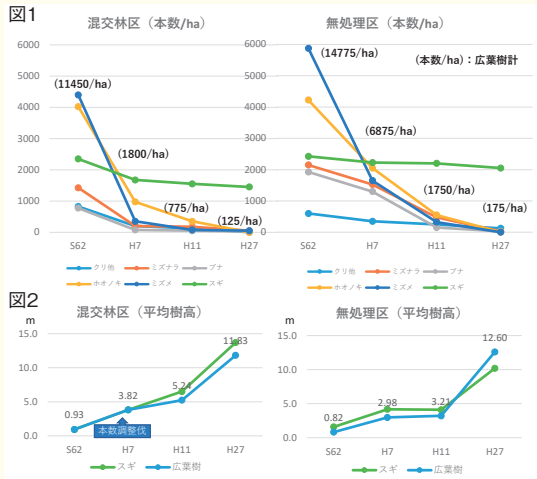
## はじめに

これまでに設定された針広混交林造成試験地について、蓄積された調査データや終了した試験地のその後の状況を再調査し、針広混交林化の適切な施業方法を考察しました。

### ① スギ人工林の広葉樹混交育成法試験地

S57年植栽(3100本/ha)のスギ人工林で、試験地として、S62年にスギ、広葉樹を残し刈払を、H7年に除伐(2類)を実施し、スギ、広葉樹ともに成長促進を図った混交林区、S62年以降保育作業を行っていない無処理区、一般的な施業でスギを育成した人工林区の3か所を設定。H11年に調査を終了し、H27年には全区域で除伐(2類)を実施。

今回は、混交林区、無処理区について、現在の立木及びH27年に除伐(2類)により伐採されたスギ、広葉樹の伐根等を調査し、樹高曲線等を用いて除伐前の林分状況を推定、どのように林況が変化した



のか検討しました。

生存本数は図1のとおりで、スギの本数はほとんど減少していませんが、広葉樹は大きく減少しています。

平均樹高は図2のとおりで、混交林区では、スギが広葉樹を上回り、無処理区では、広葉樹がスギを上回って成長しています。谷筋である混交林区と斜面である無処理区の土壌条件の違いが成長に影響したと思われる。

### ② 単層林への侵入広葉樹を活用した針広混交林造成試験地

H9年植栽(3000本/ha)のヒノキ人工林で、植栽列の2列4m及び1列2mの除伐を省略し、2列除伐省略区は2残2伐、2残4伐、2残6伐、1列除伐省略区は1残2伐、1残4伐、1残6伐と除伐省略割合を変えて、成長量調査を行いました。

除伐を省略した幅が広いプロットの侵入広葉樹は、樹種数も多く樹高成長もよくなっていますが、省略幅が1列のプロットではヒノキが広葉樹の樹高を上回り、ヒノキと同程度あるいは抜け出した個体のみが今後も成長を続けていくものと考えられます。

### ③ ヒノキ二代目造林実験地

一代目のヒノキ人工林皆伐後、S41年にヒノキとハンノキ類各4500本/haを縦・横の筋状に混植した造林地です。植栽時からハンノキ造林地には広葉樹が徐々に侵入したと思われる、H13年には筋状の針広混交林(写真1)を形成しています。

横列区(幅6m)の方が縦列区(幅4m)に比べて侵入広葉樹の本数が多くなっており、区域幅の違いによるものと思われます。樹高はどちらもヒノキと同程度の個体も多くなっていますが、枝下高が高く下層植生も乏しく、今は樹冠を広げ肥大成長促進のため



に間伐が必要となっています。

### ④ ヒノキ壮齡人工林内の侵入広葉樹

S9年植栽(5000本/ha)のヒノキ壮齡人工林、調査地(10m×10m)での調査結果は表1のとおりです。

ここはケヤキ最適地で、S45年頃のヒノキの伐採により再度ケヤキが侵入し、二段林が形成されたものと思われます。ケヤキが最上層、次にヒノキ上層木、下層はヒノキ、ケヤキが競合している状態です。

侵入広葉樹はケヤキのみですが、ほぼ理想的な木材生産を目指す針広混交林が形成された林分であり、適地の場合は容易に広葉樹が侵入し針広混交林が形成されるものと思われます。

表1

ヒノキ: 900本/ha
上層木: 400本/ha, DBH: 31cm, H: 22m
下層木: 500本/ha, DBH: 19cm, H: 14m
ケヤキ: 400本/ha
上層木: 200本/ha, DBH: 38cm, H: 26m
下層木: 200本/ha, DBH: 26cm, H: 16m

## ● おわりに

侵入広葉樹を活用し木材生産機能を持つ針広混交林を造成するためには、早い段階から林内の光環境改善のため、造林木、広葉樹の本数調整等、造林木も含めた保育作業が必要と考えます。その中で、樹高8~10m程度で広葉樹の立て木を選抜することが有効であると考えられ、選木には林地条件を勘案した樹種選定が重要です。

(森林技術・支援センター)



## 緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました

6月6日(月)に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第11回定時総会の席上で、平岩正光会長(県議会議長)から次の方々に表彰状並びに感謝状をお贈りしました。(敬称略)

緑化功労者会長表彰の皆様は、令和3年度に市町村長から推薦のあった方々で、緑の募金感謝状の皆様は、令和3年1月から12月までに10万円以上寄附された方々です。

表彰を受けられた皆様には、これからも地域の森林づくりや緑化活動に益々活躍されますとともに、緑の募金にご協力をよろしく願っています。

### 令和3年度緑化功労者 岐阜県緑化推進委員会会長表彰

高橋 利見	(岐阜市)
岩尾 誠	(郡上市)
仲谷 豊樹	(郡上市)
栗本 重秋	(東白川村)
栗谷本征二	(中津川市)
細江 忠光	(下呂市)

### 緑の募金感謝状

マックスバリュ東海株式会社	(静岡県浜松市)
イオンビッグ株式会社	(名古屋)
イオンリテール株式会社東海カンパニー	(名古屋)
株式会社平和堂	(滋賀県彦根市)
ダイードリンク株式会社	(大阪府)
株式会社小林三之助商店	(岐阜市)
中部事務機株式会社	(岐阜市)
岐阜トヨペット株式会社	(羽島郡岐南町)
株式会社大垣共立銀行	(大垣市)
株式会社河合寿司	(大垣市)
西濃緑化推進協議会	(大垣市)

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】

## 森林・林業関係イベントカレンダー(7~9月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
7月5日(火)~ 7月8日(金)	フォークリフト 運転技能講習  受講資格 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間: 1日目 学科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員: 20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技) ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5)  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月5日(月)~ 9月7日(水)	伐木等の業務 (チェーンソー)に 係る特別教育	●講習時間 5日 学科 9:20~17:30 6日 学・実 8:50~12:00 7日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員: 50名(定員になり次第締め切ります。)	5日(学科) 6日(学・実) 下呂交流会館(下呂市森 2270-3) 7日(実技) 下呂総合木材市売(下呂市乗政 122-2)  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
9月8日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間: 学科 9:20~15:40 実技 15:50~16:50 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員: 50名(定員になり次第締め切ります。)	下呂交流会館(下呂市森 2270-3)  林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



### コラム

昨年度まで「国有林の現場から」の担当をしていましたが、コロナ禍のためイベントや会議が中止になり、原稿を作成するのに苦労しました。そこで、土日に国有林を回ってネタを集めることにしました。山登りばかりで同行した家族には少しハードでしたが、様々な経験ができました。山頂からの雄大な景色に感動したり、森林鉄道や巨木にも触れることができ、休日を満喫しました。

4月から環境生活政策課自然公園係の配属になり、慣れない仕事に悪戦苦闘しています。これからは、仕事以外でも県内の国立公園・国定公園・県立自然公園に行き、ストレス解消を図りたいと思います。

「森林のたより」編集委員 安達 孝博

### イベント情報

8月1日発行

#### 連載

- 山の歳時記(204)
- 山のおじゃまむし(373)

#### 清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(115)

#### 木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(113)

#### 清流の国ぎふ森林・環境税

#### 森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

#### 市況情報

その他

8月号  
予定

## 木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所  
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1794回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	16,000	—		
			20~22cm	17,700	—		
			24~28cm	17,300	—		
		30cm以上	15,800	21,600			
	6 m	16~18cm	—	—			
	6月14日	ひのき	3 m	16~18cm	29,700		—
			20cm以上	26,000	—		
		4 m	16~22cm	28,700	—		
			24~28cm	23,500	—		
30cm以上			23,200	55,000			
6 m		16~18cm	—	—			
第1377回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	17,000	—		
			30cm以上	16,000	25,600		
	ひのき	3 m	16~18cm	30,700	—		
		4 m	20~22cm	29,000	—		
			24~28cm	23,500	—		
			30cm以上	23,200	48,000		
		6 m	16~20cm	36,000	—		
		6月8日	ひめこ	4 m	24~28cm	13,000	—
	30cm以上			14,000	—		
5 m	30cm以上		18,000	—			
くり	4 m		24cm以上	15,000	—		
第1709回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	17,000	—		
			30cm以上元	14,500	—		
	ひのき	3 m	16~22cm	29,500	—		
			24~28cm	22,500	—		
			30cm以上元	27,000	46,000		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	23,500	—		
			30cm以上元	27,000	63,000		
	6月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	
30cm以上元			10,000	—			

### 【商況】

全体的に、スギ、ヒノキ並材は、応札旺盛。スギ4m元木中目、尺上良材は、価格保合。40cm上元木も強含み。スギ並材3m・4m併せて需要高、価格は保合。スギ ラミナ向け3m・4m材は保合であるが引き合いは強い。ヒノキ柱材、土台向けの4mは継続して弱含みであるが価格は保合。合板向けはスギ、ヒノキ継続して需要高。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

製材用丸太は荷傷みが敬遠される時期になり、先安観も出てきたが、合板丸太は引き合いが強く全体の相場を引き上げている。なかでもカラマツの引き合いが強い。梅雨シーズンに入ると、原木の材質の悪化、センコウムシなど害虫発生時期ですので、速やかな出材をお願いします。(飛騨)

スギ、ヒノキ高齢級良材は、伐り旬も終わり需要は一服。人工乾燥機を備えた大型工場、合板工場等は引き続き引き合いは強い。ヒノキ柱、土台向けは、4mにやや弱含み感はあるものの価格は保合。ヒノキ中目材は、需要先在庫も潤沢で虫害懸念も相まって様子見。弱含みで価格推移。スギ3m柱取り丸太は、出材量も少なく継続して強含み。スギ4m中目尺上構造材向けも、安定した需要に支えられ強含み保合で推移。スギ4m元木良材は、価格保合で推移したが樹皮がはがれたものは売りづらい。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (5月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	( 3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	( 945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	上1等	130,000	( 5,733)	→
	柱	3000	120	120	特等	120,000	( 5,184)	→
6000		120	120	上1等	175,000	( 15,120)	↘	
W集 ウ成 材	柱	3000	105	105	国産5層	167,000	( 5,500)	→
		3000	120	120	国産5層	163,000	( 7,000)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (5月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	486	米梅	へム(アラスカ産)	432
	コスト(目荒)	468前後	米ひば	ポール	378

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場)

### 石(こく)

これってなあに? ~木材用語~

尺貫法に基づく体積の検量単位。1石=10尺×1尺×1尺(3.03<sub>尺</sub>×30.3<sub>尺</sub>×30.3<sub>尺</sub>)=0.278<sub>m</sub><sup>3</sup>。1<sub>m</sub><sup>3</sup>は約3.6石。丸太等の検量方法は素材のJASに基づく方法が一般的だが、米材丸太等で末口最長径と最短径の平均の二乗に長さを掛ける平石検量方法もある。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典